



国土交通省

国土交通省 近畿運輸局
大阪運輸支局

令和8年2月12日

問い合わせ先

(所属・担当) 大阪運輸支局 検査・整備・保安部門

西野・磯野

(電話) 072-822-4374 「2」をプッシュ

タイヤ交換後にホイール・ナットの増し締めを徹底を！

～大阪トラックステーションで点検を実施～

大阪運輸支局は、大阪府トラック協会および大阪府自動車整備振興会と連携し、2月5日に大阪トラックステーションにおいて「大型トラックのホイール・ナットの増し締め点検」を実施しました。

大型トラックおよび中型トラック合わせて21台の点検を実施した結果、**6台にホイール・ナットの緩みが確認**されたため、トルクレンチを用いて**規定トルクでの増し締め**を行いました。また**2台に錆汁の跡が確認**され、さらに**1台についてはアルミホイールとスチール用ホイール・ボルトとの組み合わせが適正でない車両が確認**されたため、いずれも注意喚起を実施しております。

ホイール・ナットの緩み点検が容易にできるよう「インジケーター」を配布して活用を呼びかけました。

また、増し締め点検とあわせて、トラック・物流Gメンによりトラック運転者への聞き取り調査や周知・啓発活動を実施しました。

～点検結果詳細～

- 点検台数21台中、6台でホイール・ナットの緩みが確認された。
- ホイール・ナットの緩みは左側車輪に多く見受けられた。(左側13本、右側9本)
- ホイール・ナットの緩みはありませんでしたが、2台にホイールに錆汁の跡が確認された。
- ホイール・ナットの緩みはありませんでしたが、1台にホイールとホイール・ボルトとの組み合わせが適正でない使用が確認された。



インジケーター装着例

タイヤ交換直後は要注意！

タイヤを適切に交換しても、走行すると必ず緩み（初期なじみ）が発生します。

タイヤ交換後50km～100km

走行後は規定トルクで増し締めをお願いします。

(参考)

冬用タイヤ交換時には
確実な作業の実施
をお願いします！→



トラック・物流Gメン
のとりくみについては
こちら！ →→→



配布先

青灯クラブ

陸運記者会（トラック部会）

防ごう 大型車の車輪脱落事故



おとさぬ
ための
点検整備

事前の正しい点検が大きな
事故を未然に防ぐ唯一かつ
最善の手段です。



さびたナットは
清掃・交換

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、
ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加
塗装などを取り除きます。



いちにち一度は
ゆるみの点検

運行前に特に脱落が多い
左後輪を中心に、ボルト、ナットを
目で見て手で触るなどして点検します。



トルクレンチで
適正締付

適正なトルクレンチによる
規定トルクの締め付け、
タイヤ交換後の増し締めの実施。



ナット・ワッシャー
隙間に給脂

ホイールボルト、ナットのねじ部と、
ナットとワッシャーもすき間にエンジンオイル
など指定の潤滑油を薄く塗布し、
回転させて油をなじませてください。

©くまね工房



詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 日本自動車工業会(バス・トラック) 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDT-トラックス
全日本トラック協会 日本バス協会 全国自動車用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ工務店組合連合会 日本自動車タイヤ協会
全日本石油販売協会連合会 日本自動車整備工芸会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工芸協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車整備協同組合連合会



タイヤ交換などホイール脱着時の不適切な取り扱いによる 車輪脱落事故が発生しています!

タイヤ交換作業にあたっては、【車載の「取扱説明書」】や【本紙表面に記載の「車輪脱落を防ぐ5つのポイント」】、
【下記の「その他、ホイールナット締め付け時の注意点」】などを参照の上、正しい取り扱い(交換作業)をお願いします。

※ホイールナットの締め付けは、必ず「規定の締め付けトルク」で行ってください。
※ホイール取付方法には、JIS方式とISO方式の2種類があります。それぞれ正しい
取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。



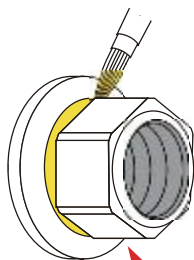
ホイールナットの締め付け不足。アルミホイール、
スチールホイールの取り扱いミス(誤組み付け、部品の誤組み)

その他、ホイールナット締め付け時の注意点

ホイールボルト、ナットの 潤滑について

ISO方式

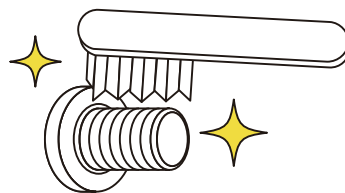
ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーとのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。ナットの座面(ディスクホイールとの当たり面)には塗布しないでください。



ナットとワッシャーとの隙間への注油も忘れずに!

ディスクホイール、ハブ、ホイールボルト、ナットの清掃について

ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面(ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。



ホイールナット締め付け時の
注意点だよ!



ホイール締め付け方式

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。
また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。

ISO方式(8穴、10穴)

ホイールサイズとボルト本数(PCD)	19.5インチ: 8本(PCD275mm) 22.5インチ: 10本(PCD335mm)	ホイールのセンタリング	ハブインロー
ボルトサイズ ねじの方向	M22 左右輪: 右ねじ(新・ISO方式) 右輪: 右ねじ 左輪: 左ねじ(従来ISO方式)	アルミホイールの 履き替え	ボルト交換
ホイールナット 使用ソケット	平面座(ワッシャー付き)・1種類 33mm(従来ISO方式の一部は32mm)	後輪ダブルタイヤの 締め付け構造	
ダブルタイヤ	一つのナットで共締め		

